

第7回 ADCT 研究会 参加報告

JCHO 北海道病院 山口隆義

皆様、こんにちは。JCHO（ジェイコー）北海道病院の山口です。第7回となったADCT研究会は、東京大学の伊藤国際学術研究センターで1月23日（土）に開催されました。

北海道から早めの飛行機で到着した事もあり、少々時間に余裕がありましたので、東京大学の学食でランチタイム。赤門ラーメンを頂きました。”汁なしあんかけラーメン”のピリ辛味で、大変美味しゅう御座いました。

さて、研究会ですが、ADCTに特化した内容の一般演題からスタートです。中には画論で受賞された内容の発表もあり、画論の冊子だけではわからない詳細な撮影方法や検討結果が報告されていました。個人的には、循環器領域での使用を目的としたIVR-CTシステムの

発表に注目でした。贅沢なシステムではありますが、今後、ストラクチャー系に対するカテーテル治療デバイスが登場してくると、このシステムのニーズが高まるものと予想されます。ですが、やはり“冠動脈のCTO治療にどう活かすか”にも注目ですね。

特別講演では、日本大学の神山浩先生の「ADCTによる小児CT検査について」というご講演がありました。主に川崎病に対するADCTの有用性に関してのお話でした。また、NTT東日本関東病院の赤羽正章先生からは「画質を担保した線量最適化戦略」というご



講演がありました。

今回の開催からポスター展示による発表もあり、これに関する表彰も行われていました。今後も、このポスター発表は継続するとの事でした。また、会の終了後には情報交換会もあり、多くの方々が参加されていました。新年早々という事もあり、まさに宴会は新年会という感じで、2次会以降も大変盛り上がりました。年齢を忘れて、最近封印していた“メのラーメン”をやってしまい、参加者のほとんど（50歳以上!?)が翌日に胃もたれを訴えていました。（東大赤門近辺は、なぜか家系ラーメンが多い。）

来年からは、GEのレボリューションユーザーの参加も期待されているとの事。ますます盛り上がる研究会となるでしょう。次回は、名古屋開催です。皆で手羽先食べに行きましょう！！